

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	住んでよかった・住みたくなる綾部創生プロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	(1)少子・高齢化、(2)地域産業の育成、(4)その他（地方創生）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市の人口は、昭和25年の54,055人をピークに減少が続いており、少子・高齢化や若者の人口流出、後継者や担い手不足による地域コミュニティ機能の衰退や地域社会全体の活力減退など、様々な分野で課題を抱えている。 本市では平成27年度、市民・地域、事業者、行政等が一体となって「綾部創生」に取り組むため「綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。「住んでよかった」「住みたくなる」綾部を実現するため、市民協働で魅力あるまちづくりを推進している。						
プロジェクトの目的及び概要	舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道の全線開通や新たな企業進出など、本市に吹く“良い風”を捉え、「住んでよかった」「住みたくなる」綾部の実現に向けたさらなる展開を目指した。選ばれるものづくり拠点と里山・農村資源を活用した産業の創生による多様な就業機会の創出、定住促進、結婚から子育てまで安心してできる社会づくり、京都北部連携と街なか・農村集落活性化を目的に、各種施策を展開した。 ■選ばれるものづくり拠点と里山・農村資源を活用した産業の創生による多様な就業機会の創出 地元での就労支援などを通じて、仕事をつくり安心して働けるまちづくりを行った ■「住みたくなる」綾部に向けた交流、定住促進と住環境整備 農村都市交流の促進や芸術・スポーツを活用した交流促進、UIターンによる定住促進を進め、綾部市への新しい人の流れをつくった ■結婚・妊娠・出産・子育てが安心して出来る社会づくり 結婚活動の支援をはじめ教育環境の整備など本市の若者が結婚し、子どもを産み育てることができる環境づくりを行い、本市で生まれ育つ子どもの数の増加を目指した ■京都北部地域の連携と街なか・農村集落活性化による心豊かに安心して暮らせるまちづくり 商店街の活性化や環境保全、防災対策の推進などに取り組み、人口減少時代の中で安全・安心な暮らしを守るため、地域と地域の連携など新しいネットワーク型の自治によるまちづくりを目指した						
	総事業費（千円）	51,433	本年度事業費（千円）	51,433	交付金額（千円）	16,495	

プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	国際交流事業費	交付対象事業	常熟市、エルサレム市、マンダウエ市との交流	フィリピン共和国訪問団等の受入れ、イスラエル国への訪問により、さらなる交流の推進に向けた検討を実施
	あやべ特別市民制度事業費（制度拡充）	交付対象事業	特別市民制度の制度拡充を図り、綾部応援者を拡大	あやべ特別市民数：2,069人
	市政情報発信事業費	交付対象事業	ホームページやフェイスブック、ゆるキャラ等を活用し、効果的に市政情報を発信	市ホームページ年間アクセス数：382,519件
	ふるさと就職支援情報発信事業費	交付対象事業	求職者等情報希望者に対して就職等に関する各種情報を提供	情報提供回数：12回 延べ情報提供者数：2,261人
	あやべ応援寄附金事業費	交付対象事業	ふるさと納税による綾部の応援者の拡充	ふるさと納税受入件数：996件
	UIターン介護人材確保事業費	交付対象事業	市内の介護事業所に就業するUIターン者及び新規学卒者の家賃補助	補助件数：9件
	妊産婦・乳幼児支援事業費	交付対象事業	4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児の健康診査、また、妊婦の健康診査や歯科健診、妊産婦・新生児・乳幼児の家庭訪問を実施	健康診査受診件数：5,118件 歯科検診受診件数：101件 家庭訪問件数：21件

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

	NHK大河ドラマ誘致事業費	交付対象事業	NHK大河ドラマを誘致し、ゆかりの地として観光客誘致を図るための誘致推進協議会への負担金	NHK大河ドラマ誘致推進協議会への負担金	
	UIターン者定住支援住宅整備事業費	関連事業	定住者向け賃貸物件の整備	定住支援住宅の管理・運営、修繕の実施	
	金融対策事業費	関連事業	市内の事業者が府の融資制度を利用する際に利子を補給	補給件数：52件	
	「ふるさとあやべ再発見」教育推進事業費	交付対象事業	ふるさとあやべを見つめ直す教育を実施。保護者・地域から信頼される活動・運動を推進	小・中学校で実施（全16校）	
住民協働事業	婚活支援事業費補助金	交付対象事業	婚活支援を行う団体に対する補助	婚活イベント開催申請件数：3件 カップリング成立数：26組	
	北部地域連携都市圏ステップアップ事業費	関連事業	定住支援住宅の整備や就職面接会の開催等	合同就職フェア参加企業数：84社 合同就職フェア来場者数：132人	
	水源の里・いきいき地域応援事業費	関連事業	住民が行う地域活性化事業の補助	補助件数：12件	
	水源の里活性化事業費	交付対象事業	水源の里に市外から転入した世帯への補助	補助件数：6件	
	着地型観光推進事業費	交付対象事業	外国人モニターツアーの実施を支援	開催回数：2回 参加者数：50人	
	チャレンジショップ支援事業費	交付対象事業	起業者支援と商店街活性化を図るための新規創業者の運営経費に対する補助	補助対象者：8人	
	商店街等活性化事業費補助金	交付対象事業	商店街等が実施する活性化事業に対する補助	補助団体数：2団体	
	NHK朝の連続テレビ小説誘致推進事業費	交付対象事業	グンゼ創始者波多野鶴吉翁と妻はなをテーマにしたNHK朝の連続テレビ小説の誘致を推進する協議会への負担金	NHK朝の連続テレビ小説誘致推進協議会への負担金	
	観光振興事業費	交付対象事業	「京・綾部名水 水源の里」の製作・販売、物産展等出展負担金 観光関係団体が実施する観光・交流事業に対する補助金（丹の国まつり・水無月まつり含む）	京・綾部名水 水源の里：3,000本製作、951本販売 丹の国まつり・水無月まつり等への補助を実施	
	文化の仕掛け事業費	交付対象事業	地域ならではの文化・芸術に関するイベントに対する支援	文化・芸術活動の促進事業への補助：1団体	
国宝光明寺二王門整備補助事業費	交付対象事業	国宝光明寺二王門の改修に対する補助	国宝光明寺二王門修繕工事への補助		
成果指標①	成果指標の目標数値	■綾部市ホームページのトップページアクセス件数 H28年度 407,896件 ⇒ H29年度 469,000件		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	382,519件
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	SNSやメルマガ等も活用し市民に向けた効果的な情報発信に努めたが、目標数値を下回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	■年間定住世帯数 H28年度 24世帯 ⇒ H29年度 15世帯		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	30世帯
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	登録空き家の掘り起こし等積極的な定住誘導施策の実施により、目標数値を大幅に上回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

成果指標 ③	成果指標の目標数値	■日帰り観光客数 H28年度 624千人⇒ H29年度 630千人		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	606千人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	海の京都・森の京都事業等の実施により積極的な誘致に努めたが、目標数値を下回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p style="text-align: center;">あやべ特別市民制度の充実や積極的な情報発信によるあやべ応援者の獲得、体制を強化して取り組んだ各種定住施策の推進により、定住者の増加につながった。</p> <p style="text-align: center;">※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	いきいき地域応援事業を活用し、京都丹波高原国定公園等豊かな自然環境や光明寺・二王門等歴史資源を生かした地域活性化事業や交流イベントが開催されるなど、市民・地域が主体となった魅力ある地域づくりを推進した。			
	住民の自治意識を高める成果	水源の里活性化事業では、市外から水源の里へ転入した世帯への補助、ブログやフェイスブックを活用した魅力発信を展開し、人口の増加や、若い世代・都市住民との交流を通じた地域の活性化に寄与した。			
	広域的波及成果	北部地域連携都市圏ステップアップ事業では、府北部地域の自治体が共同で事業を行うことにより、就職希望者に対する豊富な情報提供が可能となった。			
	その他の成果	あやべ特別市民制度事業やあやべ応援寄附金事業等により、綾部応援者の拡大や地域・市内企業の振興に努めた。			

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	市民が輝き、共に築くまちづくりプロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	(1)少子・高齢化、(4)その他（共生社会の実現）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>少子高齢化が進む中、子どもや青少年の育成は極めて重要であり、家庭、地域、学校、行政等が連携して教育や支援を行うとともに、今後、広く地域で活躍する人材の育成・確保が急務となっている。</p> <p>若い世代が家庭を築き、子育てしやすい環境の整備を行うとともに、ふるさと綾部に誇りと愛着を抱きつつ、国際感覚を持った児童・生徒の育成が求められている。</p> <p>また、多様化する社会状況に応じ、人権啓発、男女共同参画を推進し、共生社会の早期実現が求められている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>地域コミュニティの衰退を食い止める地域力向上の主役は地域住民であり、地域社会の担い手となる人材の育成を目的とする。地域社会を担う人材の育成は、地域活性化による交流・定住の促進や地域防災力の向上にも寄与する重要なプロジェクトと位置付けた。また、多様化する社会の中で、すべての市民が活躍し、共にまちづくりに参加できるような環境を整備していく上でも重要である。</p> <p>次代を担う子どもや青少年の育成において、社会的に幅広く活躍できるよう、小中一貫教育の推進や英語教育の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域活性化の活力となる活動支援 自治会活動推進、ボランティア活動推進事業、集落支援員配置事業等 ■国際社会で通用する人材の育成 外国人英語教師の雇用、イングリッシュキャンプ事業、チャレンジEIKEN事業等 ■共生社会の実現 情報アクセス・コミュニケーションに関する条例策定 						
	総事業費（千円）	321,943	本年度事業費（千円）	321,943	交付金額（千円）	12,886	

プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	集落支援員設置事業費	関連事業	地域住民が主体となって取り組む地域活動に対する人的支援を目的とした「集落支援員」を設置	集落支援員設置：2人
	ぷくぷく広場事業費	関連事業	出産子育てができる環境づくりと、健康づくりの場を提供。水夢利用券の配布や家族向け講座の開催	ぷくぷく広場参加者数：362人
	情報アクセス・コミュニケーションに関する条例策定費	交付対象事業	情報アクセス及びコミュニケーションが保障されるための理念条例を策定	綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例を策定 市民啓発用パンフレットの全戸配布、音声版パンフレットを作成
	男女共同参画センター改修事業費	交付対象事業	男女共同参画センターの相談室整備等の改修	男女共同参画センター相談室改修工事
	ボランティアコーディネーター設置事業費	交付対象事業	ボランティアコーディネーター設置に対する補助	ボランティアコーディネーター設置：2人
	認定こども園移行促進事業費	交付対象事業	認定こども園への移行促進経費に対する補助	補助件数：1件
	物部保育園整備事業費	交付対象事業	老朽化した園舎の改修	物部保育園保育棟内装等改修工事
	児童センター改修事業費	交付対象事業	なかすじ児童センターの改修	なかすじ児童センター屋根改修工事
	ブックスタート事業費	交付対象事業	生後4か月の乳児に絵本をプレゼント	実施回数：12回、絵本配布数：197冊
	給食室整備事業費	交付対象事業	綾部中学校に給食室を整備	綾部中学校給食室整備工事
チャレンジEIKEN事業費	交付対象事業	中学校英語教育の推進を図るため、中学2、3年生を対象に英検を受験	中学校卒業時の英語検定3級以上取得率：30.3%	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

住民協働事業	イングリッシュキャンプ事業費	交付対象事業	英語教育の推進のため、小学生を対象とした外国人の英語指導助手による英会話による生活体験	参加者数：119人	
	グローバル人材事業費	交付対象事業	英語教育の推進のため、市内中学校の代表生徒が英語による発表会を実施	イングリッシュサミット・ミニ英語検定の実施 大学でのイングリッシュキャンパスの実施	
	飛び立て！中学生海外派遣事業費	交付対象事業	英語教育の推進のため、市内中学校の生徒を海外に派遣	中学2、3年生15人をオーストラリアへ研修派遣	
	外国語指導講師業務委託事業費	交付対象事業	小中学校における英語教育の推進、特に英会話能力の向上を図るため、講師3人を派遣委託	英語指導助手配置：3人	
	大規模改修事業費（小学校、中学校）	交付対象事業	学校施設の施設改善を図るため、屋上防水や消防設備等を改修	東八田小学校屋内運動場床等改修工事 綾部中学校教室棟屋上防水等改修工事	
	幼稚園大規模改修事業費	交付対象事業	幼稚園施設の施設改善を図るため、屋上の防水改修を実施	綾部幼稚園保育管理棟屋上防水改修工事	
	特別支援教育支援員配置事業費	関連事業	障害等のある児童に対する学習支援と生活介助	支援員配置：小学校10人、中学校5人	
	小学校英語教育推進リーダー養成事業費	交付対象事業	英語教科化に向け、英語教育を推進するリーダーとなる教師を養成	養成講座受講教員数：5人	
住民協働事業	自治会活動推進費	交付対象事業	自治会組織の各種行政協力に対する報奨金と自治会連合会の活動に対する補助を充実	自治会の行政協力報償金及び自治会連合会の運営補助金	
	ボランティア活動推進事業費	交付対象事業	ボランティア活動の推進と活動推進事業に対する補助	あやべボランティア総合センターへの補助	
成果指標①	成果指標の目標数値	■ハートセンター利用件数 H28年度：317件 → H29年度：325件		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	361件
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	ボランティア活動が活発化し、新たなボランティア団体の登録も増えたことにより、目標数値を上回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	■障害者教室参加者数 H28年度：419人 → H29年度：400人		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	444人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	受講の要件を緩和し、対象者数が増加したことにより、目標数値を上回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	ボランティアコーディネーターを設置し、様々な分野で活動する市民・団体の支援を行うとともに、各種講座を実施するなど、気運の醸成や人材育成に努めた結果、ボランティア活動が活発になり、ハートセンター利用件数の増加につながった。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	ふくぷくひろば事業等により必要な健康指導等行うとともに、妊産婦同士の交流の場を提供するなど、安心して出産・子育てができる環境づくりに寄与した。
	住民の自治意識を高める成果	集落支援員2人を設置し、地域・集落への人的支援を行うことにより、地域資源を活用した特産品の開発等地域の活性化に資する取組の推進に寄与した。
	リーディング・モデル成果	綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例を策定し、市民啓発用パンフレットの全戸配布や、音声版パンフレットを作成するなど、障害がある人とない人が共に生きる共生の社会の実現に努めた。
	その他の成果	思春期における食の問題の解決、食育や子育て支援の観点から平成30年度の開始を予定している市内全小中学校での完全給食に向け、綾部中学校給食室の整備を行った。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	災害に強い安全・安心のまちづくりプロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	(3) まちの安全・安心	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>近年、台風や局地的な集中豪雨による土砂崩れが頻繁に発生しており、自然災害に対する懸念が高まっている。また、本市は、高浜、大飯両発電所から半径30キロメートル圏内に位置しており、地域防災計画や実効性のある住民避難計画の策定に向けた見直しなど、防災体制の強化が求められている。市民においては自治会等を単位に自主防災組織が立ち上げられるなど、防災に対する意識が高まっている。</p> <p>環境問題については、地球市民の一員として大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済行動から脱却し、温室効果ガスの削減やごみ減量化などの積極的な取組が求められている。これらに対応するため、リサイクル推進活動を展開するほか、リサイクルプラザの整備、自然エネルギーの活用など、市民とともに環境保全に配慮した行動を起こす必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>地域の安全・安心を推進するための事業に重点的に投資することとし、消防力・地域防災力の向上・強化を図るとともに、降雨災害に備え内水対策を行うなど誰もが安心して暮らせるまちづくりを目的とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域の防災力の強化 地域の自主防災組織の活動強化と支援 ■災害対策の強化 光谷川・黒谷川整備事業 ■防災・災害時対応の強化 ハザードマップ・備蓄品の整備 ■市民団体による環境保全活動を支援 上林川を美しくする会や環境市民会議の活動を支援し、自然環境の保全に取り組んだ。 						
	総事業費（千円）	259,353	本年度事業費（千円）	259,353	交付金額（千円）	50,440	

プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	農業用施設改良整備事業費	交付対象事業	農地の保全と農業経営の安定確保のため農業用施設の改修	岩口池堤体改修工事
	河川改修費	交付対象事業	豪雨災害に対する安全対策のため、河川を整備	河川安全対策工事
	住宅用太陽光発電システム設置補助事業費	交付対象事業	住宅用太陽光発電システムの設置に対し補助	補助件数：23件
	災害時応急対策整備事業費	交付対象事業	備蓄品の整備及び浸水想定区域の見直しに伴うハザードマップの改訂	ハザードマップ改定版配布数：60戸（改定対象地域のみ）
	栗橋地域し尿処理施設改修事業費	交付対象事業	栗橋地域し尿処理施設改修事業費	栗橋し尿処理施設機械設備等改修工事
	地域緑化推進事業補助金	交付対象事業	地域緑化推進のため、綾部市シルバー人材センターに対する補助	あやべ由良川花壇展やコスモスまつり等緑化事業への補助
	リサイクル施設整備事業費	関連事業	リサイクル施設建設に係る経費	旧清掃工場解体撤去工事（リサイクル施設整備予定地）
	黒谷川整備事業費	交付対象事業	市道黒谷線及び周辺家屋の浸水被害を軽減するため、黒谷川を整備	黒谷川改修工事の詳細設計・測量
	都市下水路改修費	交付対象事業	豪雨災害に対する安全対策のため、樋門、都市下水路を整備	都市下水路浚渫工事：1件 都市下水路修繕：1件 樋門修繕：2件
	光谷川整備事業費	交付対象事業	老朽化により崩落による流水阻害発生の危険がある光谷川の整備	光谷川護岸整備工事
道路管理パトロールカー整備事業費	交付対象事業	道路管理パトロールカーの整備	道路管理パトロールカー整備：1台	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

	大谷池安全対策事業費	交付対象事業	堤体が老朽化した大谷池の抜本的対策を実施	大谷池安全対策工事	
	空家等対策費	交付対象事業	適切な管理が行われていない空家等が市民の生活環境に深刻な影響を及ぼす場合に緊急安全対策を実施	安全対策実施件数：2件	
	上林消防出張所整備事業費	交付対象事業	上林出張所（建物）の取得	上林出張所（建物）を取得	
住民協働事業	交通安全対策事業費	交付対象事業	自治会による交通安全灯設置に対する補助	交通安全灯設置数：327か所	
	上林川を美しくする会運営費補助金	交付対象事業	上林川を美しくする会の環境保全活動に対する補助	上林川を美しくする会 葦刈りボランティア参加者数：95人	
	環境市民会議運営費補助金	交付対象事業	環境市民会議が行う環境保全活動に対する補助	綾部市環境市民会議が実施する環境保全活動への補助	
	資源ごみ回収事業費補助金	交付対象事業	資源ごみの回収活動に対して補助	補助団体数：82団体	
	古紙回収用保管庫設置費補助金	交付対象事業	地域住民が組織する団体が実施する保管庫等の設置事業に対して補助	補助団体数：6団体	
	ごみ減量化及びリサイクル推進事業費	交付対象事業	分別等を行うリサイクル推進員の活動経費	リサイクル推進委員：441人	
	ニホンザル被害対策事業費	関連事業	モデル地区におけるニホンザルの追払い等に対する補助	モデル地区（於与岐町見内集落）における捕獲・追い払い活動への補助	
	除雪機械設置補助事業費	交付対象事業	自治会が市道の除雪作業に必要な除雪機具の整備を行う場合に補助	補助件数：18件	
	消防団統合整備事業費	交付対象事業	消防団の分団統合による整備に係る経費	夜間訓練用照明器具設置工事、分団旗等備品整備	
	綾部市防火防災協会補助金	交付対象事業	団体の、防火防災力向上の活動に対して補助金を交付	綾部市防火防災協会への補助	
成果指標①	成果指標の目標数値	■自主防災組織数 H28年度 146団体 ⇒ H32年度 196団体（全自治会）		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点）	148団体
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	地域ぐるみの防災安全対策・体制推進の必要性を地域へ周知し、組織数を増やしているため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	
成果指標②	成果指標の目標数値	■上林川を美しくする会 行事参加者数 H28年度 98人 ⇒ H29年度 105人		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点）	95人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	清流・環境の保全を推進するため、積極的な広報を行い参加者数の増加に努めたが、目標数値を下回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	各種講演会や研修会の実施、綾部市防火防災協会への支援により、市民や市内企業の自助・共助による防災意識の向上に努めた結果、自主防災組織の増加につながった。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	リサイクル施設の整備に向け、建設予定地にある旧清掃工場を解体し、廃棄物対策と環境保全の推進に寄与した。
	住民の自治意識を高める成果	住民協働で各種環境の保全活動を行うことにより、本市の自然を美しく保つことにつながった。また、住民の環境保全に対する意識の向上が図られ、将来的な環境の保全にも寄与した。
	リーディング・モデル成果	団員数が減少していた消防団の分団を統合し、出動体制や施設・備品等の再整備を行い、災害時の迅速な対応の強化に努めた。
	行財政改革に資する成果	住民協働のもと、ごみの減量やリサイクルを推進することにより、ごみ処理に係る経費の削減に努めた。
	その他の成果	浸水被害軽減のため、河川や都市下水路、池等の改修を進め、安全・安心のまちづくりに寄与した。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

プロジェクト名	住み続けたくなるまちづくりプロジェクト	実施期間	平成29年度	テーマ	(1) 少子・高齢化、 (2) 地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>人口の減少、少子高齢化等による社会状況の中、地域社会を維持していくための政策課題は多様で拡大傾向にある。本市では、総合的な定住促進対策を講じて、市外からの移住を促すとともに、子どもから高齢者までの誰もが「住み続けたくなる」住みやすいまち、一度市外へ出た人が「帰りたくない」ような魅力あるまちを目指す。</p> <p>このため、限られた行政資源の下、市民等と協働し、まちづくりや行政サービスのあり方・進め方について創意工夫し、市民自らがつくるという意識を大切にしながら、市民本位の施策を地域の実情に応じて展開していく必要がある。</p> <p>市民と行政との協働により、本市の特色を生かした住まい・住環境づくりを進め、市民が誇りと愛着を持ち、誰もが生き生きと暮らせるまちを目指す。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>人口の減少、少子高齢化の中で、本市に住んでいる人に健康で安心できる暮らしをしてもらうために、また、一旦、市外に出た人に帰ってもらうために、子育て支援や住環境の整備、健康推進事業など総合的な定住促進対策を実施する。さらに、中小企業等の支援を行い、企業の振興、雇用の確保による経済の活性化、就業人口の定着につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設の改修・充実による市民満足度の向上 地域緑化推進事業、工業団地修景管理費 ■定住促進のための産業振興により雇用の確保 農業、商業、工業等の基幹産業の振興等による雇用の確保 ■企業等の支援による産業振興 工場設置奨励金交付事業、中小企業経営支援事業等による企業支援による雇用の確保 ■市民が健康で心豊かに生活するための機会の提供 各種健康診査、健康教室の開催、あやちゃん健康ポイントの実施 						
	総事業費（千円）	243,455	本年度事業費（千円）	243,455	交付金額（千円）	30,734	

プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	清山荘改修事業費	交付対象事業	老朽化した空調設備を一括管理から個別管理方式へ改修	清山荘空調設備改修工事
	清山荘健康講座事業費	関連事業	高齢期を健康に過ごすため、体操指導などを行う健康講座を清山荘にて開催	健康講座開催回数：118回 参加者数：3,572人
	工業団地修景管理費	交付対象事業	綾部工業団地の修景管理を綾部市シルバー人材センターに委託	自然豊かな景観等の保全
	地域情報センター改修事業費	交付対象事業	地域情報センターの屋上防水改修	地域情報センター屋上防水改修工事
	上林地域振興センター整備事業費	交付対象事業	上林地域振興センター（建物）の取得	上林地域振興センター（建物）を取得
	固定資産税基礎資料整備事業費	交付対象事業	固定資産税の適正・公正な課税と業務の効率化を推進するため、地形図・地番図を整備	地番図の更新：800筆
	あやバス利用促進事業費	交付対象事業	あやバス利用促進のための記念品やイベントの開催、高齢者向け定期購入補助等、利用促進施策の企画・立案	定期券購入補助件数：160件
	介護福祉士養成支援事業費	関連事業	市内事業所の介護人材確保等のため、介護福祉士、社会福祉士の養成学校に就学する者に就学資金を貸与	貸与件数：2件
	認知症高齢者支援事業費	交付対象事業	認知症高齢者の早期保護と安全確保のため、GPS端末を貸し出し	貸出件数：9件
	すこやか住まい改修事業費	関連事業	介護保険の住宅改修制度の限度超過分の一部を補助	補助件数：16件
あやちゃん健康ポイント事業費	交付対象事業	各種健診や健康づくりの催しへの参加にポイントを付与し、景品等と引き換えのできる事業を実施	ポイント交換者数：971人	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

	健康ウォーキング推進事業費	関連事業	ウォーキング大会の開催やウォーキング大会への参加により、健康増進を図る	ウォーキング大会参加者数：93人	
	村おこし研修館改修事業費	交付対象事業	村おこし研修館の施設改修	村おこし研修館浄化槽設置等改修工事	
	農業後継者就農支援事業費	交付対象事業	専業農家の後継者を育成・支援するための研修に対する奨励金	農業後継者の育成活動への補助	
	京の冬野菜産地化事業費	交付対象事業	冬季の栽培に適した作物の産地化	冬季の栽培に適した作物の産地化に向けた講習、農家への指導、市場調査への補助	
	ふれあい牧場改修事業費	交付対象事業	ふれあい牧場研修棟空調設備の改修	ふれあい牧場研修棟空調設備改修工事	
	あやべ温泉施設改修事業費	交付対象事業	あやべ温泉改修に向けた設計委託	あやべ温泉改修工事の設計	
	工業団地・交流プラザ改修事業費	交付対象事業	交流プラザ空調設備の改修	交流プラザ空調設備改修工事	
	古墳公園改修事業費	交付対象事業	私市円山古墳公園の排水管敷設を改修	私市円山古墳公園芝生広場排水管敷設工事	
	公民館改修事業費	交付対象事業	奥上林公民館に駐輪場を整備	奥上林公民館駐輪場整備工事	
住民協働事業	コミュニティ助成事業費	交付対象事業	地域のコミュニティ施設改修等に対する補助	補助件数：7件	
	コミュニティ放送局放送委託等事業費	交付対象事業	コミュニティラジオ局「エフエムあやべ」を活用し情報発信	行政情報、防災情報等の発信	
	健康づくり推進事業費	交付対象事業	市内の団体等が主催する健康づくり教室等への指導者の派遣や、あやべ健康プラザの温水プールなどを活用した健康教室等の開催	指導者派遣利用団体数：124団体	
	茶品評会出品奨励費	交付対象事業	茶の各品評会に対する奨励補助	品評会品点数：68点	
	農業施設改良助成事業費	交付対象事業	農道等農業施設の小規模改修への補助	補助件数：5件	
	ものづくり連携・振興事業費	交付対象事業	京都工芸繊維大学と連携した、企業見学会・インターンシップの開催、綾部工業研究所「工業課程上級コース」を活用して人材育成をする中小企業者に対して補助	補助件数：0件 企業見学会参加者数：18人 インターンシップ参加者数：3人	
	あやべの米づくり支援事業費	交付対象事業	市内農家の特別栽培米生産を支援	補助件数：3件	
	工場設置奨励金交付事業費	交付対象事業	市内で生産設備を新設した企業に対し、課税初年度から3年間奨励金を交付	交付企業数：27社	
	中小企業生産設備リース導入支援事業費	交付対象事業	リース契約により新規に生産設備を導入する市内中小企業者に対する助成	交付企業数：1社	
成果指標①	成果指標の目標数値	■あやバス乗車人数 H28年度：214,000人 ⇒ H29年度：216,000人		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	205,670人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	高齢化や中学校・高等学校の生徒数の減少等により利用者が減少し、目標数値を下回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

成果指標②	成果指標の目標数値	■あやちゃん健康ポイント取組人数 H28年度：842人 ⇒ H29年度：970人		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	971人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	市内の企業等に向けた積極的な周知により、取組が広く浸透し、目標数値を達成できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	■認定就農者数（累計） H28年度：48経営体 ⇒ H29年度：50経営体		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	48経営体
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	高齢化等により更新しない農業者もあったが、新たに認定を申請した農業者もあり、目標数値と近似値かつ前年同数を維持できたため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	■清山荘入館者数 H28年度：29,435人 ⇒ H29年度：30,300人		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	30,754人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	健康講座等の継続的な取組や送迎等きめ細かなサービスの実施により、目標数値を上回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	あやちゃん健康ポイント事業の積極的な周知や、市内の団体等が主催する健康づくり教室等への指導者の派遣、あやべ健康プラザでの健康教室等の開催により、市民の健康志向が高まり、あやちゃん健康ポイント取組人数の増加につながった。 また、高齢期を健康に過ごしていただくための健康講座の開催や、送迎等きめ細かなサービスの実施により、清山荘の利用者も増加した。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	介護福祉士、社会福祉士を目指す人材への支援や、介護保険の住宅改修制度の限度超過分の一部を補助するなど、高齢化社会においても安心して住み続けられるまちづくりの推進に寄与した。			
	住民の自治意識を高める成果	コミュニティ助成事業により、活動の拠点となる公会堂等の修繕や自治会周年記念誌作成等を支援し、地域住民のコミュニティ活動の活性化を促進した。			
	リーディング・モデル成果	産学公が連携し、ものづくり体験ツアーや京都工芸繊維大学の学生を対象とした市内企業見学会、インターンシップを実施するなど、ものづくり振興と地域の活性化を推進した。			
	広域的波及成果	工場設置奨励金等の企業を助成する制度によって、企業誘致の促進と振興育成を図った。			
	行財政改革に資する成果	老朽化した清山荘の空調設備を一括管理方式から個別管理方式へと改修し、節電と省エネ、省コストに努めた。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：綾部市

	その他の成果	各公共施設の老朽化や利便性の向上に向けた改修を実施し、来場者の満足度を高め、市民の施設利用を促進した。
--	--------	---

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。